

ながの環境パートナーシップ会議  
平成22年度第9回 幹事会 会議記録

日 時 平成23年1月12日(水)18時10分から20時40分

場 所 会議室6(市役所第二庁舎4階)

出席幹事 5人

(弓場、金井、高木、渡辺、中村)

欠席幹事 2人

(安藤、水野)

### 会議内容

#### 《協議事項》

- 1 生物多様性地域懇談会開催について  
P会議主催で2月19日(土)に開催することが決定した。詳細は **今後の日程等**を参照。
- 2 中間監査と平成23年度運営・予算方針内容、説明会開催について  
中間監査報告と運営方針(案)・予算方針(案)について協議、説明会開催内容について検討した。詳細は、 **今後の日程等及び 主な意見・質疑等**を参照。
- 3 新入会員パックの内容について  
新規入会者に渡すものについて検討した。詳細は **主な意見・質疑等**を参照。
- 4 キャラクターデザインの募集と審査について  
募集要領と作品申込書が決定し、ホームページ上に掲載することが決まった。広報ながの2月1日号への掲載について確認、審査方法について検討した。詳細は **主な意見・質疑等**を参照。
- 5 省エネコンテスト・環境講演会のパートナーシップ会議会員及び関係団体への周知について  
市民団体からの広報依頼への対応方法について協議した。市の後援を受けているイベント等については環境に関するものなら、ホームページ上でニュースレターの発行予定を伝えて、できるだけニュースレターに同封するなど予算にひびかない対応をすることとした。また、市民団体のイベント等について、ホームページに掲載することを決定した。詳細は **主な意見・質疑等**を参照。

#### 《報告事項》

プロジェクトチーム活動報告

(トレイ・レジ使用削減、市民の森づくり、生ごみの削減・再利用)

活動記録票等により報告

生ごみチームについては、「チーム名の変更」について報告書に記載があるが、次回の幹事会において、変更について安藤幹事から経過をお聞きしながら協議する。今回の幹事会での意見は、 **主な意見・質疑等**を参照。

情報公開について

会員から契約書についての情報公開請求があったため、情報公開について幹事会での意思確認をした。「情報公開は、個人情報を除き公開とする。」

## 今後の日程等

平成23年度運営方針・予算編成方針説明会

(1)日時・場所：平成23年1月28日(金) 午後6時30分～8時

ふれあい福祉センター4階会議室2

(2)内容：中間監査報告・平成23年度運営方針・予算編成方針・予算編成方法説明

(3)参集範囲：プロジェクトリーダー・監事

**\* プロジェクトリーダーが参加できない場合は必ずチームメンバー1名の参加をお願いします。**

生ごみ削減再利用システム構築プロジェクトチーム視察報告会

日時・場所：平成23年2月8日(火) 午後6時30分～8時15分

ふれあい福祉センター4階会議室

生物多様性地域懇談会「いのちはつながっている。生物多様性を考えよう！」

(1)日時・場所：平成23年2月19日(土) 午後1時30分～4時

信州大学工学部 学部共通棟第一講義室

(2)内容(予定)：生物多様性とは・生物多様性戦略・生物多様性の現状などの講義  
意見交換会

**\* 「生物多様性」の基本的なことが分かります。会員の皆さんの参加をお待ちしています。参加希望の方は事務局までご連絡ください。**

幹事会

(1)日時・場所：2月14日(月)18:00～ 会議室6(市役所第二庁舎4階)

(2)内容：生物多様性地域懇談会、キャラクターデザイン審査検討、23年度予算ほか。

## その他

市への意見募集(パブリックコメントなど)の市ホームページへの掲載について、新入会員研修会において、ホームページでダイレクトに意見募集している内容が見られないという意見がありました。現在ホームページのトップページには「市へのご意見等」というコーナーが左側にあり、4回くらいクリックするとご覧いただけます。

## 主な意見・質疑等

## 1 生物多様性地域懇談会開催について

(弓場代表幹事から説明)

市民の森チームやスキー場チームに打診した結果、幹事会主導で開催することになった。県の担当者と環境保全研究所の須賀さんと日程調整をし、今のところ2月19日であれば開催できる。県の担当からは、生物多様性とは？というところから、多様性戦略や基本法の話、須賀さんからは現状調査の中間報告など、スキー場の遠藤さんから生物多様性の理念・環境倫理・生物の生存権などのお話をしてもらうことになった。

(参加)対象はパートナーシップ会議になるか。

それも決めたい。会員にするか、あるいはそれを公聴可能にするか。他の開催方法をみても、内部のものと公聴可能のもあるので、どちらでもいいかと思う。

ほたるの会とかも呼びかければ参加してもらえないのではないか。

長野市では、自然保護レンジャー関係と有機農法研究会で懇談会を開催している。これからは自然保護連盟が開催する。

あと、みどりの市民でも開催を予定している。外来種について。

時間は13時30分からが良いか。場所はまだ未定。

たくさん来ていただけるのはいいが、みなさんに発言していただくとすると、時間がない。前段でお話も聞くととなると、30人くらいか。

30人入れるところならいいか。では、時間は午後1時30分から4時くらいまでということで会場を探すということでもいいか。承認

企画内容については、そもそものところが分かっていない。まずそれを県の担当に話してもらって、あと須賀さんと遠藤さん。

時間的には4時までだとすると2時間30分くらいか。

意見交換は1時間は欲しい。すると、3人で30分づつくらいか。最初に懇談会の趣旨を説明して。

では、県では1時間の中で時間配分してもらって、あと30分弱を遠藤さんをお願いする。

テーマをどうするか。「長野市の生物多様性の保全に向けた取り組み」として申し込みをする。

対象は会員だけでいいか。外に広報するか。内部の人の勉強会にするか。

参加は会員中心で外の人もOKとするか。

広報は市民新聞には載せる。そのほかの広報手段はどうか。

ニュースレターを今月出すので、そのときに同封する送り状に記載する。

## 2 中間監査と平成23年度運営・予算方針内容、説明会開催について

中間監査の報告内容について

### ・業務監査の監査所見 について

「負担金はアジェンダを推進するための協働の場を提供する団体に支給されているものであり、パートナーシップ会議のみに支給することを規定しているもので無い」と記載されている。これはそのようになっているのか。

アジェンダを推進する団体として出している。(これからは事務局からの補足)負担金は、今はパートナーシップ会議負担金として出しているが、監査所見の前段にあるとおり、パートナーシップ会議の本来のあり方は「協働の場を提供するネットワーク」であり、プロジェクトの推進のみを指していない。「アジェンダ21ながの」は環境ビジョン・サブビジョン・テーマ・行動プロジェクトと推進システムから出来ていて、推進システムが大幅に変更になり、様々な団体・事業者とのネットワークや協働が出来ていない状況にある。負担金の支出についてもこの状況を留意しなければならない。

### ・中間監査報告と平成23年度運営方針・予算編成方針について、ご意見いただき、説明会でお話したいが、いかがか。行動計画に基づいて予算を作ってほしいという話なのだが、事務局で作った書類では、3カ年の計画とそれに合わせた予算が書けるようになっているが、どうか。

この書類だと、年度の計画に対してどのような活動があり、その活動に対してどのくらいの予算が必要かが分かるので、今までより査定はしやすいと思う。

監事がどこまでの業績評価を求めているのか分からないが、数値目標も年度ごとの目標を作って、年度ごとの評価を求めているのでは、と思うが。

数値目標を決められないものもある。年度ごとでの活動目標を段階的に作り評価できれば。

今出来ることをやる、でなく、本当の目標に向かってこれで出来るのか。一步一步進んでいるのか、確認できるのか。

この例でいくと、理想の街の実現にはスカイクオリティメーターの値をよくするために照明設備についてでてくるのかもしれない。そうだとすると、スカイクオリティメーターを使用した夜空の明るさ調査が重要なものかもしれない。この数値目標が光害対策型照明設備割合があるが、これは数字が出るものなのだろうか。ぎょうせいは出ると思うが。事業者はどうだろう。

活動計画と数値目標の関連がとり方が難しい。

この方式でやると、この目標を達成するために、今年はどんな活動をするか、例えば市民への啓発なら、啓発講座を年何回やるとか、そういう風に展開するだろう。講座を何回やるからこれだけ必要とか。事業者向けのパンフレットを作るのでこれだけかかりますとか。それで、何回やりました、出来ませんでしたなどで評価をするとか。ただ、やりましただけでなく、調査を何地点で何回やったかなど計画を出してもらおう。定点で調査したとしても、どんな変化があったか、その結果に対しての対策を出すとか。

監事から指摘事項があり、来年度の計画を作るときにはリーダーにこの事項をしっかりと伝えないといけない。幹事会では指摘事項を重く受け止めていて、様式についても、指摘を受けて変更をした。行動計画や予算もこの内容をしっかりと読んだ上で作って欲しいということをしっかり伝えたい。

それで出てきたものについては、幹事会で査定をしますと。

予算の書き方ももっと細かいほうがいいか。何月にこれをやるとか。項目があったほうが。プロジェクトとしては責任が出てくるから、具体的な行動につながっていくと思う。

今のプロジェクトチームの皆さんは仕事以外のことでやっているのだから、あんまりしっかりシビアな計画を建てるのは大変なことだと思うが。

それはそうなのだが、今のままではお金の使い方について市民に説明責任が果たせるとは思えない。そうでないチームもあるが、お金とのバランスが悪いなというチームもあると思うので、他の市民団体との公平性も確保しなければいけないし、情報開示したときに、効果に比べてバランス悪いんじゃないのと言われないうにしないといけない。そのためにこういう様式も整備したいし、幹事会としてきちっと査定をしたいし、そういう使われ方をしているチームからは予算をカットしたい。

私たちは言われてやっているんじゃない、ミッションにもとづいてやっているんだ、そういう思いとのバランスが問題。規則でしぼるのでなく、押さえるところは押さえて、市民活動ということもあるので。

普通は市民活動はお金はない。自分たちでお金を調達して自分たちで計画してやっている。プロジェクトチームだけがぶらさがってはいけない。前に見直しをしたときに、これはそもそも自立した団体で、この人たちが本当に協働するときにP会議を使ってほしいという話があった。こうしたときにプロジェクトチームはどこにぞくするのが悩ましいところだが、監事は協働の場を提供するために負担金がついている、と言っている。場合によっては、プロジェクトチームもこういうことでいいのではないか。このところにP会議としての役割があるのではないか。

(P会議の)最初の頃に考えていた状態になるということか。

- ここでいう「アジェンダ」とは、どれを指しているのか。15年の冊子になっているものか、2007年の見直しのものか。

15年3月のもの。このアジェンダを推進している団体ということで負担金を出している。2007年のものではない。

アジェンダの見直しの話も、環境基本計画の見直しの話とともにここでも一回やりましょうという話があったが、念頭においてやっていかないといけない。

第二次の基本計画にP会議からだれか出ていたか。

太陽チームの本道さんが環境審議会の委員として出ている。

では、本道さんに聞けば、アジェンダ21と環境基本計画の間にずれがあるとか、整合性について確認できるということか。

つながりはあるので、そこから情報はとれると思う。

基本計画があって、アジェンダが出来ているので、基本計画が変わって整合性がとれなくなれば、当然アジェンダも変更を余儀なくされる。

ここは連動してやっていかないといけない。どっかの段階で本道さんに来てもらって話を聞く必要があるかもしれない。進捗状況に応じて。

いつまでに(計画を)決めるのか。

24年4月施行なので策定は24年3月。

パブコメもあるので、出てきたものはよく見ておかないといけない。

では、1月28日の説明会では、今日の内容で様式を変更した上で、これでお話していいか。

外部団体への助成については、予算措置に関わるから今ここでやっているということでもいいか。そうすると、こういう方針というのは、総会の決議はどうなるのか。

最終的に予算を決めるのは総会だから、こういう方針でやりたいといっても通らないかもしれない。

運営方針とかもやはり幹事会だけでは決められない。総会を通らなければいけない。

方針はいきなり総会で出さずに、事前に大枠を決めておいてそれに対して意見を求めれば。総会前にはそれにそった計画を作らなければいけない。いきなり総会にだして否決されたら、活動が休止状態になって大変。

いづれにしても、28日にこれを出して良いかどうかを確認したい。

出しておかないと、いいも悪いもそこで意見をもらったほうが、我々としても次のステップに入って行き易い。

(3)のつなぐ場とつなぐヒトの確保について、どのようなものを想定しているのか。

実際、今の財源から考えて不可能。

それならば、常勤職員として確保でなく、「ヒトを確保するよう努めます。」くらいにしたほうが。

エコサークルの部分はどうか。

企業を対象にするならそこしかないか。ごみやリサイクルが主だが、環境意識が高い企業であることは間違いない。

前はごみが主だったが、今は地球温暖化やCO2削減とかそういう企業努力をしているところも多い。P会議と連携できる場所はあろうと思う。

連携ではなく、加入してもらうのはどうか。

エコサークルとはいっても、束ねるところはなく、個々の企業。

束ねるところがなければ、一社一社当たるしかない。

企業としては次のステップになるテーマがない。P会議にはいればお金を出すかヒトを出すかは分からないが、連携は出来ると思う。

年に1回、秋にあるエコサークルの会議で代表が行って説明できるように出来たらいい。進め方について、監事さんにも来てもらうようにする。どちらか一人でも。時間は説明時間は30分くらいで、あと意見をもらって終了は8時くらいか。了承。

### 3 新入会員パックの内容について

- ・ 会員証への期限の明示について、会費の納入は、2年納入がないと会員の資格が取り消されることになっているが、それ以外は取り決めはない。

会費の期限が明確でない。途中で払ったものはその年度の会費となるが、次の総会までは資格があるということか。でも、2年は会員資格が無くならないから、また次の総会も議決権があるということか。その辺はむしろ会則を整備しないといけないのか。

会員資格とは何か。権利はニュースレターなどの送付があるということと総会の議決権と保険の加入。チームの活動は会員でなくても参加できるので、あんまり明示すると会員でなくてもいいやという人も出てこないか。保険については、市民の森では独自にかけているし。

領収書を兼ねられるのは合理的だと思うが。

毎年出すことになるのでは。

パックの中に、P会議に入るとこんなことが出来るということがわかるQ&Aがあるといい。どこかのチームの活動に賛同して入ってくる人はいいが、「こんなことできないかな」と思っている人に対して、「こういうことが実現できますよ」というのが分かるようなものがあれば。例えば、自分のやりたいことがチームの活動にないが、新しく作ることができるのか。」という問いに対して、「メンバーを集めて幹事会に企画提案して承認されればできます。」とか、「予算はどうなりますか」には、「幹事会に申請していただいて認められれば使うことが出来ます。」とか、P会議の会員としてのメリットとか。

パックにするのは必要最小限で。必要なら取りにいらっしゃい位で。

窓口を示しておくのがいいと思う。

会則も、会員の権利の部分とか。

パンフレットの内容はどうか。事務局案の 印の変わらないものは掲載して、他は挟み込みにするか。パートナーシップ会議の構成も変わる場合があるが。

見積もりをとった。4ページのリーフレットで1ページ10,000円のデザイン料、イラスト新規作成は1点3,500円から5,000円、印刷はおおよそ35,000円から40,000円くらいで出来る。デザイン・イラストは交渉の余地がある。

予算はあるか。

予備費で今200,000円ある。

掲載内容について、長野市との協働で行っていることをどこかでいれたほうがいい。

2ページ目に代表幹事の声がけがあるが、名前は入れないほうがいい。

1ページにキャラクターだけでなく他に有効な情報を載せられれば。

環境ビジョンを載せたらどうか。全部でなくても。

Q&Aはお問い合わせの上あたりでどうか。

名札は、総会のときにあったほうが、名前が分かって横のつながりができるのではないか。

会員証の出し方として、入会時だけ領収書兼用の会員証（名札）をだして、2年目以降は会費領収書のみとするか。

それなら別に領収書兼用でなくてもいいような気がする。

出来るだけ事務が煩雑にならないようにしたい。

使うのであればいいのだが、会議があっても忘れてしまう可能性が高い。その場で配って、回収するのならいいが。

名刺は必要な人だけ配ればいい。実費を請求してもいいと思うが。

パンフレットに「入会のご案内」を入れたほうがいいか。

パンフレットの目的は、入ってきた人がパートナーシップ会議の全体のことを分かるようにするもの。でも、お誘いにも使えるようにしたほうがいいので、「ご案内」は入れないほうがいい。

パンフレットに入会申込書をつければ説明して入会もできる。

本日の内容を入れて直していただき、また幹事にメールで送ってもらって、校正していく。

#### 4 キャラクターデザインの募集と審査について

- ・募集要領の応募に必要な内容について、2月1日号の広報ながの「くらしのチャンネル」に掲載をお願いした。広報では、審査については何も触れていない。

ホームページのURLは広報には掲載しているのか。

載せている。

広報が出るまでには必ずホームページにのっけておかないと。

「P会議会員で構成する審査会」はどうするか。

最終審査を会員の公開審査にするなら幹事会でいいのではないか。

まず3点にしばるか。

もっと多くてもいいか。何点くるかにもよるが。

3点というのは、賞が最優秀賞と優秀賞が3つあるので、それをまず審査会で選んでおいて、その3点で会員がどんなイメージをもっているか選んでもらえばおもしろいのでは。3点でなくてもいいのだけど。

著作権の関係で、ホームページに載せて投票してもらうのであれば、入賞以外の作品は著作権をクリアしていないのでホームページに載せられない。だから3点しか選べない。3点を絞るのは幹事会でいいか。

専門的な人を呼ぶかどうか。絵心のあるような。

幹事会とは別に誰か呼んで、幹事会の前に審査をするか。

前に他のことで、美術専門学校の人をお願いしたことがあった。

票が割れたりしたときに、そういう人がいるといい。

恐らく、応募してきた作品で、デザインはとてもしがこのままではキャラクターとしては使えないものもある。

募集要領の13. で、一部修正、補作する場合がある、としているので、手は加えられる。

では、要領の審査会を「会員で構成する」として、単なる審査会とする。

ホームページで投票できるようにするか。

それは難しいと思われる。

メールでAさんに1票でもいいのでは。ホームページにアクセスするだけだと、一人何票投票したかの把握ができない。メールで記名して送ってもらえば会員であるかも確認できる。投票できるのは会員のみで。

では、審査については要領案を作って2月の幹事会でお示しする。

外から呼ぶ審査員について、交通費は出したほうがいいのではないか。本当は謝礼としてだすべきだが。この点も次回の幹事会で決定する。

#### 5 省エネコンテスト・環境講演会のパートナーシップ会議会員及び関係団体への周知について

- ・みどりの市民主催イベントについて、会員や関係団体あて周知したいという希望があった。市民団体からのイベント開催広報について、どのように今後対処していくか、協議した。  
後援とかで入っていれば受入しやすいが、何もない場合とかもある。  
省エネコンテストは長野県、長野市が後援している。  
市の後援があって、環境系のものであれば。  
つなぐ役割を積極的に果たしていくという役目もある。  
今回はニュースレターがあるので、同封することもできる。そういうこと(ニュースレター発行時期など)情報開示して他団体にも分かるようにしないといけない。  
ホームページで年何回のニュースレターを発行しているので、企画イベントがある人は早めに事務局にご相談くださいと広報すればいい。おおよその発行月を入れて。たくさんになってきた場合は送料が変わることもある。  
郵送にするか、宅急便のメール便、メルマガやHP掲載にするかは、予算に響かない程度で相手方と相談して事務局で判断する。  
ホームページには、他の団体のイベント情報をもっと載せていいと思う。リンクを張るだけでも。  
市の後援が無い場合は、幹事会で検討する。

### プロジェクトチーム活動報告

- 「チーム名の変更について」
  - ・学校版 EMS も変更しているが、どのようにしたか。前は学校版 ISO と言っていたが、商標の関係で使えないというので EMS にしたら分かりにくくなった。  
アジェンダの冊子は NSO になっている。  
市民の森もチーム名を変えている。2007 年  
「システム構築」を取りたいということか。理由は長いからなのか  
それも理由の一つで、もう一つは「そのほうが合理的だから」ということだったが、それ以上はお聞き出来なかった。  
幹事会では、変更していいかどうか、事例があるからいいとするのか  
チーム名の変更については、特に会則にもうたっていない。  
チームとしての活動は変わらなくて、名前だけの変更なのか。  
プロジェクト名は変わらず、チーム名が変わるということか。  
プロジェクト名とチーム名は同じものということ。  
そもそも、内容が変わらないのであれば、名前を短くすることはいいのではと思うが、いかがか。この件は次回の幹事会で安藤幹事からお話を聞いた上で再度協議する。
- 「トレイ・レジチームのごみ減量化に関する懇談会について」
  - ・今回、初の試みとして、店舗で、レジ担当者に参加してもらい、現場の声を聞く。今まで事業者の所に行っていたが、これ以上やることがないということで、前に進めない。現場の声をすくいあげられれば。店舗を支えるのは地域の消費者なので、その声ももらえればいい。